新たに農業経営を始めたい方

とよかわ就農塾「第15期」を募集します

「とよかわ就農塾」は、新規に農業経営を目指す方の研修です。研修を通じ、栽培の基礎から販売方法、労務管理、農地確保など、農業経営に必要な知識・技術の習得を支援します。

- 1 対象者 露地野菜で就農を志望し、以下のすべてに該当する方
 - ・市内在住で税等の滞納がない方。
 - ・就農予定時の年齢が原則 49 歳以下である方。
 - ・就農塾修了後 1～2 年以内に市内で就農し、専業農家で自立経営を目指す方。
 - ・健康上問題がなく、最後まで研修をやり遂げる意欲のある方。※農業経験の有無は問いません。ただし、兼業や家庭菜園の方は対象外です。
- 2 定員 5名
- 3 期間 令和6年8月～令和7年6月（毎月2回程度開催）
- 4 場所 JAひまわり営農センター他（視察等あり）
- 5 内容 裏面研修計画のとおり（開校式：令和6年8月22日（木）予定）
- 6 受講料 2,500 円（別途保険料を徴収することがあります。）
※開校式に集金します。
- 7 申込 申込書に必要事項をご記入の上、豊川市産業環境部農務課（北庁舎2階）へ直接お申し込みください。
- 8 締切 令和6年7月22日（月）まで
- 9 選考 令和6年8月5日（月）を予定
※申込締切り後、面接時間を通知します。
- 10 その他
 - ・修了には、7割以上の出席が必要です。無断欠席が続くなど、不適切な行為が認められる場合は、受講停止とさせていただくことがあります。
 - ・就農塾生及び修了者は下記の支援を受けることができます。
①農業用機械等の貸出、②機械購入等補助、③農地情報の提供、④販売指導
 - ・当該塾と並行し、就農希望品目で経営する農家のもとで、技術研修を受けていただくことを推奨しています。

問合せ：豊川市農業担い手育成総合支援協議会 事務局 豊川市産業環境部農務課
TEL (0533-89-2138)、E-mail (nomu@city.toyokawa.lg.jp)

令和6年度「とよかわ就農塾」年間開催計画(案)

月日	回目	形式	講座名	内容
令和6年 8月	1 開校式	講義	就農塾の実施方針	新規就農の実態と就農塾の実施方針
		講義	就農手順と野菜の経営モデル	営農開始手順と露地野菜の経営モデル紹介
	2	講義	農業基礎知識	農業用語の基礎 就農に必要な知識と資本装備
9月	3	視察	野菜のモデル経営視察	夏秋ナス栽培後半の管理 秋冬野菜の育苗と定植方法
	4	講義	野菜の基本知識と栽培技術	野菜の植物生理 野菜の栽培技術体系
10月	5	演習	土壌調査方法	土壌断面調査
		講義	土壌の基礎知識	土壌の基礎知識と土壌改良
	6	講義	トラクタの基礎知識	トラクタの構造と安全使用
		演習	トラクタの操作方法	ロータリー耕起の個別指導
11月	7	講義	農業経営論	営農に必要な経営知識と行動計画
	8	講義	施肥の基礎知識	肥料の種類と特徴 野菜の施肥方法
12月	9	講義	野菜作物別専門技術	野菜栽培に必要な技術と技能習得方法
	10	講義	営農計画の作成	野菜経営の現状と経営計画の策定
		演習		営農計画の作成
令和7年 1月	11	講義	農家の税制度	農家の税制度
			個別経営相談	開業手続き
2月	12	講義	農機の保守点検	トラクタのメンテナンス方法 小型農機の構造とメンテナンス方法
		視察	野菜のモデル経営視察	秋冬野菜の栽培技術と出荷調整方法 (キャベツ、ブロッコリー等)
3月	14	講義	野菜の病害虫防除	野菜の主要病害虫と防除 野菜の連作障害対策
		講義	ハウス構造と必要装置	ハウス構造の基礎知識 栽培作物とフィルムの資材特性
4月	16	講義	農薬の使用方法	農薬種類と効果的な使い方 生産履歴と農薬の適正管理
		視察	地域の出荷、販売戦略	JA直売所へのお荷体制と経営戦略 東三河パッキングセンターへのお荷体制
5月	18	講義	野菜の高生産技術	植物生理と環境制御技術
		視察	野菜のモデル経営視察	夏秋ナス栽培定植後の管理 アスパラガスの夏芽収穫管理
6月	20	演習	営農計画の作成	営農計画の完成
		発表	営農計画の発表	営農計画の発表
	21 修了式	講義		関係機関からの具体的支援策

注) (1)開催 基本的に月2回、13時30分～16時
(2)場所 JAひまわり営農センター他